



とわだ 5

No. 163

2016



目次

平成28年度の予算が決まりました2
平成27年度の市の重点目標の達成状況を報告します4
公共施設のあり方についてのアンケート調査の結果をお知らせします6
春の狂犬病予防注射と飼い犬登録のお知らせ8

心踊る新学校生活 (4月7日/三本木小学校)
 市内の全小中学校(小学校16校、中学校9校)で入学式が行われ、小学生447人、中学生541人が入学しました。この日、大規模校の三本木小学校では93人が、十和田中学校では90人が入学。それぞれ式典会場では、新1年生の児童生徒が在校生、保護者、教職員らの拍手で迎えられ、希望を胸に新たな学校生活をスタートさせました。

平成28年度の主な事業を紹介します

1. 人と自然が共生する 「しぜん感動・創造都市」



立地適正化計画の策定 1,015万円
市の拠点区域を設定し、居住機能と福祉・医療・商業などの都市機能を効果的に誘導するための計画を策定します。

井戸頭団地改修事業 1億8,859万円
老朽化してきている井戸頭団地について、長寿命化を図るため、大規模な改修工事を実施します。

2. 豊かな心をはぐくむ 「こころ感動・創造都市」



北里大学50周年記念事業 350万円
学校運営協議会制度の導入 46万円
学校・家庭・地域社会が一体となって、より良い教育を実現させるため、保護者や地域住民などから構成され、学校運営に関して一定の権限と責任を有する合議制の機関である学校運営協議会を市内3小中学校に導入します。

学校施設非構造部材耐震改修事業 715万円
学校施設の屋内運動場に、照明器具などの附属設備の落下防止対策を施し、児童生徒と災害時の避難施設の安全性を確保するための耐震化改修工事の実施設計を行います。

三本木中学校建設事業 7,977万円

地方創生に向けた取り組み

地域における安定した雇用を創出する



農業用機械等導入支援事業 2,256万円
創業支援事業 1,222万円
創業支援に関するワンストップ窓口の設置、セミナーの開催、空き店舗改修の補助などを実施します。

インバウンド対策事業 661万円
県主催の海外キャラバンへの同行、十和田湖観光交流センターへの外国語対応職員の雇用、観光案内ロボットなどの導入を実施します。

地域への新しいひとの流れをつくる



住宅取得・改修補助事業 3,050万円
定住自立圏域外からの転入者の住宅取得・改修費の一部を補助します。

お試し移住推進事業 1,210万円
移住セミナーの開催、移住お試し住宅の整備、移住お試しツアーなどを実施し、移住の促進を図ります。

3. 安心・安全を支える 「くらし感動・創造都市」



防犯灯・街路灯省エネルギー化事業 204万円
消費生活センター運営事業 607万円

4. にぎわいと活力あふれる 「しごと感動・創造都市」



十和田八幡平国立公園十和田八甲田地域指定80周年記念事業 1,604万円
国立公園の指定を受けてから80年という節目の年に、各種記念事業を実施し、集客促進と情報発信強化を図ります。

十和田バラ焼きゼミナール補助金 100万円

5. いきいきと活躍できる 「しみん感動・創造都市」



ふるさと納税制度の拡充 575万円
新庁舎建設事業（実施設計など） 2億1,748万円
老朽化している市庁舎本館と十和田湖支所庁舎（議会棟を含む）を統合整備し、防災拠点としての機能を強化するとともに、市民サービスの向上と執務環境の改善を図るため、新庁舎を建設します。

若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる



結婚支援事業補助 200万円
結婚支援事業を実施する民間団体などに、事業費の一部を補助します。

同窓会開催補助 200万円

子ども医療費の助成拡大 7,658万円
中学生までの子どもの通院・入院医療費を無料化し、子どもを産み育てやすい環境を整備します。

放課後児童クラブ（仲よし会）の充実 1,771万円
高清水小・洞内小・四和小への仲よし会の新設および土曜日・長期休業日の仲よし会の開設時間を延長し、保護者の子育てと仕事の両立を支援します。

時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに地域と地域を連携する



健康長寿応援事業 851万円
とわだ生涯現役プロジェクト 115万円
新たなコミュニティづくり事業 299万円
おおむね小学校区を単位とする新たなコミュニティづくりを推進するため、組織の立ち上げを支援します。また、まちづくりに必要な人材を育成するため、講座を開催します。

平成28年度の一般会計当初予算は、前年度予算に比べて7千万円減り、290億円となりました。

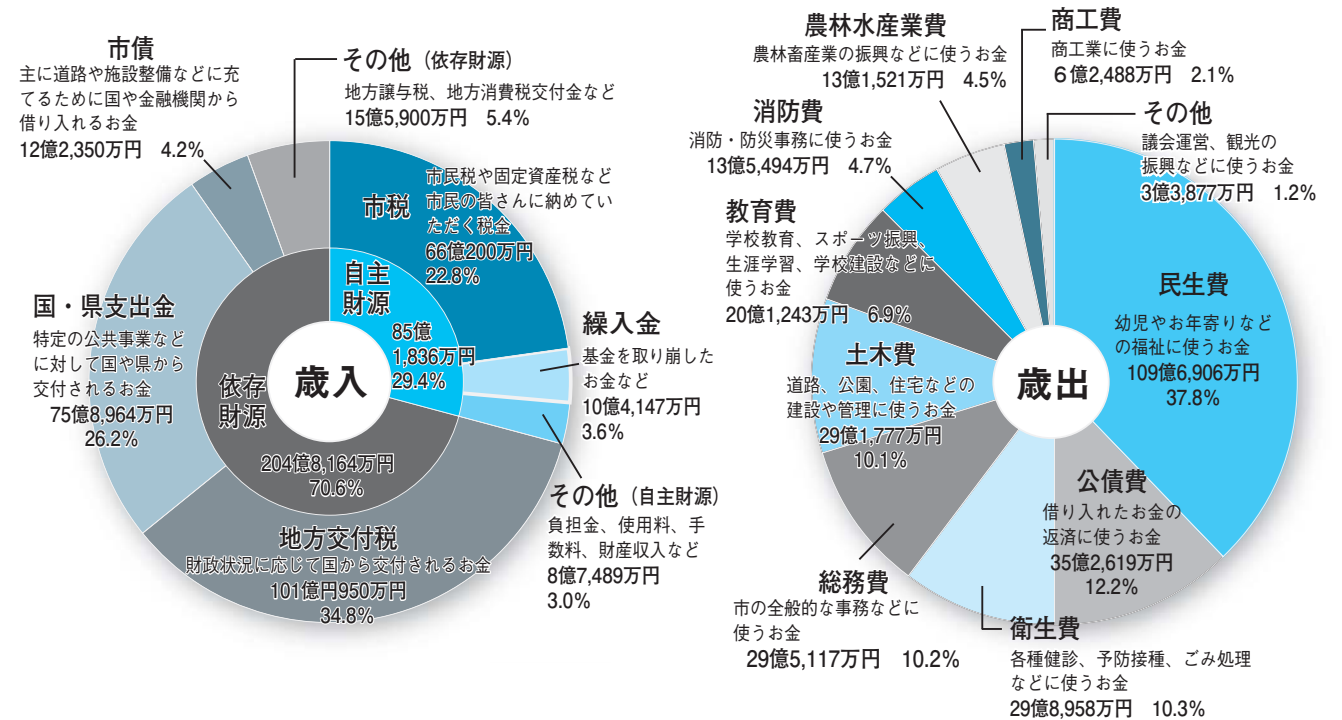
当初予算の編成にあたっては、「第1次十和田市総合計画」に掲げるまちづくりの目標の実現に向け、事務事業の重点化、効率化を図り、「基金に頼らない財政運営」を基本とし、地方創生につながる効果的な取り組みを推し進めながら、特別会計や企業会計も含めた連結ベースでの健全財政を維持するものとなっています。

◆歳入◆
市税は、前年度比2.5%増の66億200万円を見込んでおり、地方交付税は、同比0.5%減の101億950万円を見込んでいます。また、市債については、同比7.0%減の12億2350万円を見込んでいます。

◆歳出◆
新市庁舎建設事業等の実施に伴い、総務費で11.0%増の29億5117万円を見込んでいます。また、民生費については、子ども・子育て支援における国の制度拡充による保育に係る給付費の増に伴い、3.3%増の109億6906万円を見込んでいます。

政策課 財政係 ☎ 6713

■一般会計当初予算290億円の内訳（1万円未満は四捨五入）

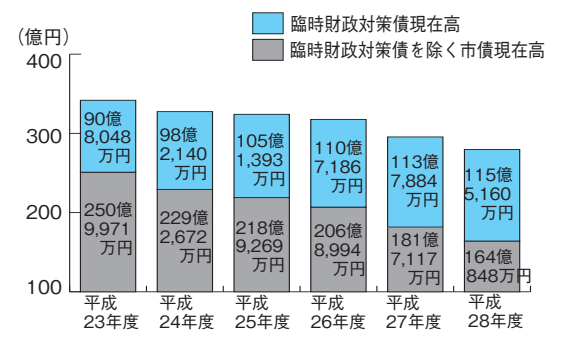


■各会計予算の前年度比較・各会計への線出金の状況

会計名	予算額	前年度との比較	増減率	一般会計からの線出金
一般会計	290億円	△7千万円	△0.2%	—
特別会計				
国民健康保険事業	81億8,993万円	△9,475万円	△1.1%	8億487万円
後期高齢者医療	5億4,725万円	△3,075万円	△5.3%	1億9,495万円
介護保険事業	66億1,836万円	△8,912万円	△1.3%	9億7,664万円
温泉事業	2,963万円	360万円	13.8%	—
企業会計				
水道事業	34億5,527万円	2億1,120万円	6.5%	1億4,940万円
下水道事業	50億8,866万円	1億3,661万円	2.8%	12億7,928万円
病院事業	102億2,873万円	△1億3,754万円	△1.3%	13億1,073万円

※企業会計の予算額は、収益的支出と資本的支出の合計額です。

■一般会計当初予算での年度別市債残高見込み額の推移



用語解説

一般会計…教育、福祉、道路の整備など十和田市の基本的な事務・事業に関する会計です。

特別会計…特定の事業を行う場合や保険料など特定の歳入を特定の歳出に充てるなど一般会計と区別する必要がある場合に設置する会計です。

企業会計…企業的人格をもった事業を運営するために設置された地方公営企業の会計です。

自主財源…市税、分担金及び負担金、使用料および手数料など市が自主的に確保できる収入です。

依存財源…地方交付税、国庫支出金、県支出金など国や県の意思で交付されたり、割り当てられたりする収入です。

平成 27 年度の市の重点目標の達成状況を報告します

☎総務課行政総務係 ☎51 6719

昨年度の市政運営方針に沿って「平成 27 年度における各部等の重点目標」を掲げ、各部一丸となって取り組みを進めて参りました。そのうち、最も重要な項目について達成状況の概要を報告します。

■総務部の重点目標

- 1 耐震性に問題のある本庁舎および支所庁舎を統合整備した**新庁舎の建設事業**に着手します。
- 2 中長期的な視点に立って公共施設などの更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行うため、平成 27・28 年度の 2 カ年で**公共施設等総合管理計画**を策定します。

目標値

- 1 新庁舎建設に係る
 - ①基本構想の策定
 - ②基本計画の策定
 - ③基本設計を行います。
- 2 平成 27 年度は、社会経済環境分析、資産状況調査、市民意識調査などを行い、基本方針を策定します。

達成状況

- 1 ①検討委員会、市民会議、市民アンケートを踏まえ策定済
- ②、③はプロポーザル方式で選定、契約済
- 2 管理計画策定の方針を作成し、計画策定業務を発注しました。また、公共施設などの情報整理、評価・分析、市民アンケートなどを行いました。

■企画財政部の重点目標

- 1 豊かな自然や農畜産物、アートが融合した本市ならではの地域特性を踏まえ、雇用創造や地域活性化につなげるための指針となる**地方人口ビジョン**および**地方版総合戦略**を策定します。
- 2 市の最上位計画として、将来都市像や政策目標を定め、各種施策を展開するための指針となる**次期総合計画**を 2 カ年で策定します。

目標値

- 1 地方人口ビジョンおよび地方版総合戦略を策定します。
- 2 平成 27 年度は、基本構想原案を決定します。

達成状況

- 1 「十和田市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略」を策定しました。
- 2 現行計画の検証や市民意識調査などを実施し、基本構想原案を庁議決定しました。

■民生部の重点目標

- 1 国民健康保険事業財政の健全化を図るため、**国保税率の検討**、**医療費適正化対策**を進めます。
- 2 **民間活力の活用**と施設管理の効率化によるコスト削減を図ります。

目標値

- 1 ①国保税率のあり方について、平成 27 年 10 月末までに方針を決定します。
- ②重複・頻回受診者への訪問指導を実施します。指導実施目標 85 人（対象見込み 100 人）
- 2 市民交流プラザの指定管理者導入については、平成 27 年度に方針を決定します。

達成状況

- 1 ①国保税率の税率改正を行いました。
- ②重複・頻回受診者の 76% に対し、訪問指導を実施しました。
- 2 コストなど比較の結果、直営で管理することとしました。

■健康福祉部の重点目標

- 1 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう**地域包括ケア体制の充実**を図ります。
- 2 健康寿命延伸のため、生活習慣病の予防を目的とした**特定健康診査受診率の向上**ならびに**運動習慣の定着化**を図ります。

目標値

- 1 ①地域包括支援センター運営形態などの原案を取りまとめます。
- ②新しい介護予防・日常生活支援総合事業の原案を取りまとめます。
- 2 ①特定健康診査受診率 45%
- ②運動習慣定着率
 - (1)壮年期（40～64 歳）30%
 - (2)前期高齢者（65～74 歳）47%

達成状況

- 1 ①直営や外部委託などの検討を行いましたでしたが、原案の取りまとめには至りませんでした。
- ②サービスメニューなどの検討を行いました。原案の取りまとめには至りませんでした。
- 2 ①受診率 33%
- ②(1)壮年期 27%(2)前期高齢者 43%

■農林部の重点目標

- 1 青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を促し、**青年就農者の増加**を図ります。
- 2 「**十和田湖ひめます**」の地域団体商標登録を契機に、品質保持、安定供給することによりブランドの確立を図ります。

目標値

- 1 新規就農者 20 人（平成 26 年度 4 人）
- 2 ①ブランド化推進に係る「(仮称)十和田湖ひめますブランド化推進協議会」を設立します。
- ②急速冷凍庫の導入支援により、生食可能な状態で販売する割合を 80%にします。（平成 26 年度 50%）

達成状況

- 1 5 人（個人 3 人、夫婦 1 組）
- 2 ①「十和田湖ひめますブランド化推進協議会」を設立しました。
- ②急速冷凍庫の導入支援により、生食可能な状態で販売する割合は、67%となりました。

■観光商工部の重点目標

- 1 **休屋地区および焼山地区の活性化**を図ります。
- 2 商工業の振興を通じ、経済の活性化を図ることによって**雇用情勢の向上**に努めます。

目標値

- 1 国立公園（十和田地区）入込客数：200 万人（平成 25 年度 182 万人、24 年度 199 万人、23 年度 161 万人）
- 2 ①有効求人倍率（十和田管内）：0.85（平成 27 年 2 月：0.79）
- ②企業誘致件数：1 件

達成状況

- 1 焼山地区の宿泊者数は前年比約 10%増、休屋地区はほぼ前年並み
- 2 ①有効求人倍率：0.94（平成 28 年 1 月）
- ②企業誘致件数：1 件

■建設部の重点目標

- 1 冬期における道路等維持管理業務の体制確保と効率化を図るため、**民間委託の導入**を検討します。
- 2 **コンパクトシティの形成**に取り組みます。

目標値

- 1 平成 27 年度内に方針を決定します。
- 2 遊休地・空き家の有効活用と、市営住宅のあり方を整理・検討します。

達成状況

- 1 除雪パトロールと除雪業務の一括民間委託について、関係機関との協議や他市事例の調査を実施しました。
- 2 遊休地・空き家の有効活用について調査しました。市営住宅の整備手法について検討し、今後 PFI 導入可能性調査を実施することとしました。

■上下水道部の重点目標

- 健全で**安定的な経営運営**を行い、持続的なサービスの提供を行っていきます。

目標値

- ①十和田市水道整備基本計画を策定します。
- ②年度末水洗化率 85.5%を目指します。（平成 26 年度 84.2%）

達成状況

- ①電気計装設備や集中監視設備等の構築事業、送水管やポンプ等の送水施設更新事業、水道施設の耐震化事業、管路の耐震化等の更新事業の水道整備基本計画を策定するための基礎調査を行いました。
- ②年度末水洗化率 85.1%

■中央病院の重点目標

- 医療収益の向上およびコストの削減を図り、病院事業の**経営安定化**を図ります。

目標値

- 単年度収支において現金ベースでの黒字を確保します。

達成状況

- 平成 27 年度事業の決算見込みでは黒字確保は困難な状況となっています。

■教育委員会の重点目標

- 1 次代を担う人材の育成に向けて学校教育を充実し、全国学力・学習状況調査において「**学校に行くのが楽しい**」と回答する児童・生徒の割合を高めます。
- 2 市民の学習環境づくり、地域に根ざした多彩な文化、芸術、スポーツ活動の推進による人材育成に向け、**社会教育事業**、**スポーツ活動**への参加者を増やします。

目標値

- 1 小学校 6 年生・中学校 3 年生ともに 90%にします。（平成 26 年度、小学校 6 年生 85.0%、中学校 3 年生 83.9%）
- 2 社会教育事業・スポーツ活動への参加者を 11 万 4 千人にします。（平成 26 年度 11 万 2,371 人）

達成状況

- 1 小学校 6 年生 89.8%、中学校 3 年生 80.2%
- 2 11 万 7,856 人の見込み

■農業委員会の重点目標

- 1 **遊休農地の発生防止**と再生可能な農地の有効利用を促します。
- 2 農業の担い手の確保に資する**農業者年金加入**、**家族経営協定締結**および**農業後継者の結婚活動支援**を行います。

目標値

- 1 現認されている遊休農地のうち、8.0ha 以上を解消します。
- 2 ①農業者年金加入者 7 人
- ②家族経営協定締結数 7 組
- ③農業体験交流会実施数 2 回

達成状況

- 1 遊休農地を 2.5ha 解消
- 2 ①農業者年金加入者 10 人
- ②家族経営協定締結数 2 組
- ③農業体験交流会実施数 2 回

※詳細については、市ホームページで公表していますので、ご覧ください。

公共施設のあり方についてのアンケート調査の結果をお知らせします

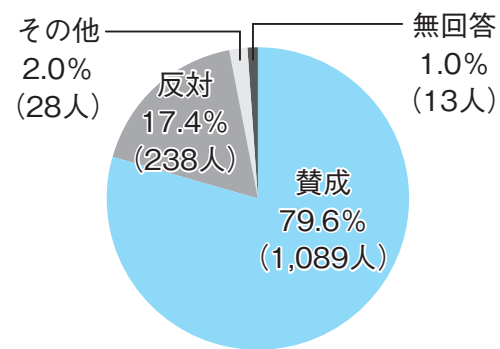
市では、公共施設の今後のあり方の指針となる『公共施設等総合管理計画』の策定に取り組んでいます。この計画を策定するにあたり、市民の皆さんの意見を反映させるため、市民アンケート調査を行いました。このアンケート調査では、不特定多数の人が利用する施設のうち耐震性能（I s 値）や老朽化、経過年数などさまざまな課題を有する7施設についてお聞きしました。今後は、この結果を参考としながら各施設の整備方針を定めて参ります。

問管財課管財係 ☎ 6707

▶実施期間 平成28年1月21日～2月1日
 ▶対象者 無作為で選んだ20歳以上の市民3,000人 ▶回収率 45.6% (1,368人)
 ▶性別 男性41.6% (569人) 女性57.2% (782人) 無回答1.2% (17人)
 ▶年齢 20代5.7% (78人) 30代11.0% (151人) 40代15.3% (209人) 50代18.2% (249人)、
 60代24.9% (341人) 70代15.8% (216人) 80歳以上8.3% (114人) 無回答0.7% (10人)

①市民屋内グラウンド ②南屋内グラウンド

Q この2つの施設は、耐震性能が低く大規模な地震で倒壊する危険性が高いため平成27年3月31日で廃止しました。この2つの施設を統合し、新たに建設する方向で考えていますが、このことについて、あなたの考えをお聞きます。



屋内でスポーツやレクリエーションなどを行うための土床の体育館

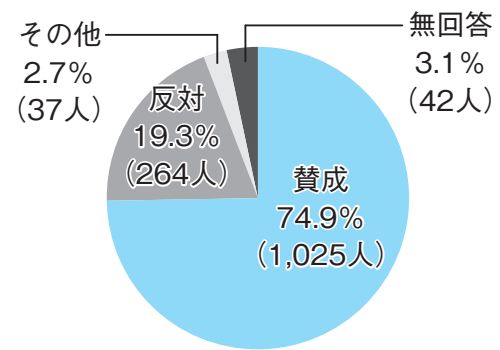
①市民屋内グラウンド
 経過年数 52年（昭和39年築）
 平成25年度の利用状況
 利用者数 15,475人、1日平均 45人、稼働率 26.5%

②南屋内グラウンド
 経過年数 55年（昭和36年築）
 平成25年度の利用状況
 利用者数 12,323人、1日平均 36人、稼働率 27.0%

※①②ともに、平成26年12月1日から休館

③十和田湖公民館

Q この施設は、耐震性能が低く、大規模な地震で倒壊する危険性が高い2階部分（1,000人収容の大ホール）を平成27年1月1日から閉鎖しています。今後、『ふるさと皆館』へ機能を移転し、地域の拠点となるような施設を整備する方向で考えていますが、このことについて、あなたの考えをお聞きます。



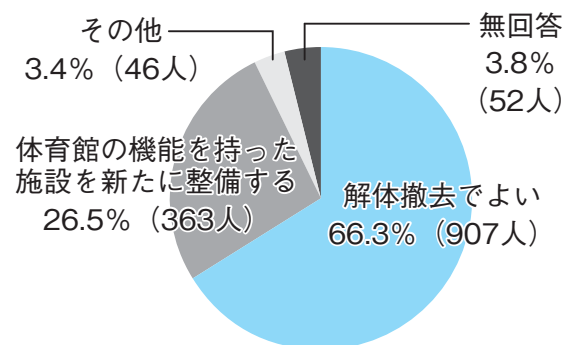
会議、集会、習い事などを行うための施設

経過年数 37年（昭和54年築）
 平成25年度の利用状況
 利用者数 23,529人、1日平均 66人、稼働率 10.0%

うち2階部分の25年度の状況
 ・使用回数 152回
 ・利用者数 3,863人
 ・1回平均 25人

④十和田湖総合運動公園体育館

Q この施設は、耐震性能が低く大規模な地震で倒壊する危険性が高いため平成27年3月31日で廃止しました。今後、解体撤去する方向で考えていますが、このことについて、あなたの考えをお聞きます。



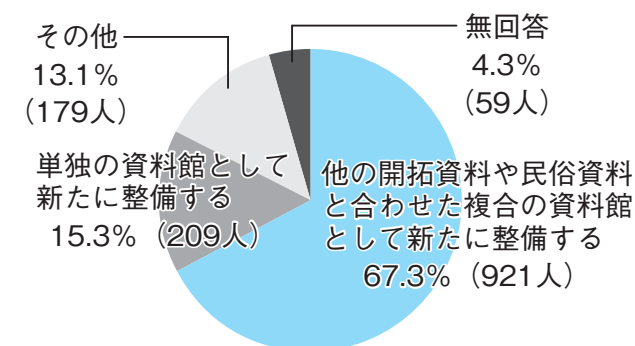
室内でスポーツやレクリエーションなどを行うための施設

経過年数 43年（昭和48年築）
 平成25年度の利用状況
 利用者数 12,888人、1日平均 37人、稼働率 29.6%

※平成26年12月1日から休館

⑤新渡戸記念館

Q この施設は、コンクリート強度が著しく低く耐震性能も低く大規模な地震で倒壊する危険性が高いため平成27年6月30日で廃止しました。市が所有する資料はほとんどないため、新たに整備する場合には、原則として資料の所有権を取得することが前提となります。このことを踏まえ、今後の方針について、あなたの考えをお聞きます。

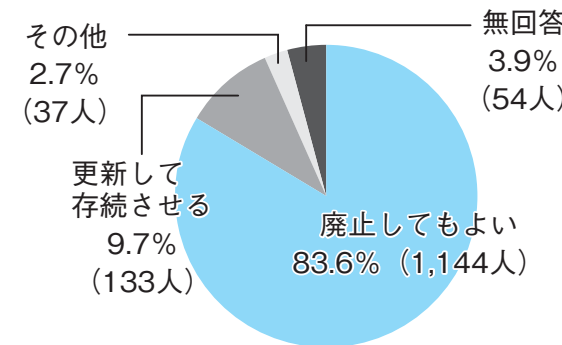


三本木原開拓、新渡戸家3代に関する資料の保存・展示などを行うための施設

経過年数 51年（昭和40年築）
 平成25年度の利用状況
 利用者数 11,541人、1日平均 38人
 平成26年度の利用状況
 利用者数 10,308人、1日平均 34人

⑥勤労青少年ホーム（体育館部分を除く）

Q この施設の体育館を除いた部分は、1日当たりの利用者が少ない状況です。今後の方針について、あなたの考えをお聞きます。



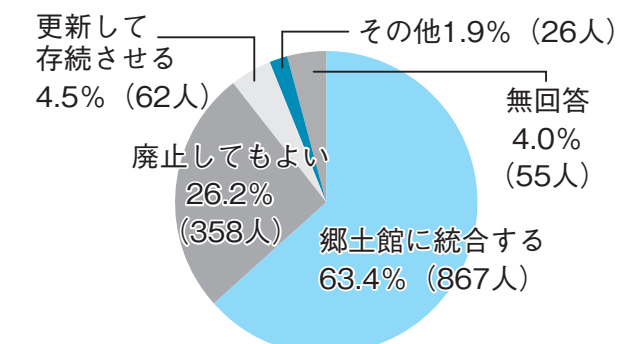
勤労青少年（15歳以上35歳未満）向けの会議、集会などを行うための施設。支障がない場合は、その他の人も利用することができます。

経過年数 42年（昭和49年築）
 平成25年度の利用状況
 利用者数 3,671人、1日平均 10人、稼働率 13.0%

平成26年度の利用状況
 利用者数 4,519人、1日平均 13人、稼働率 16.6%

⑦十和田湖民俗資料館

Q この施設は、木造で老朽化が進んでいます。市内には同様の資料館『郷土館』がありますが、今後の方針について、あなたの考えをお聞きます。



民俗資料の保存・展示などを行うための施設。国指定重要文化財旧笠石家に隣接しています。

経過年数 40年（昭和51年築）
 平成25年度の利用状況
 利用者数 2,977人、1日平均 10人
 平成26年度の利用状況
 利用者数 1,343人、1日平均 4人

市へ移住する人へ『住宅の取得費用の一部を補助します』

市への移住・定住を促進するため、「平成28年1月1日から平成28年3月31日までに市外から転入した人」、「平成28年4月1日以降に、上十三・十和田湖広域定住自立圏（※1）外から転入する人」を対象に、平成29年3月31日までに入居する人の住宅取得費用の一部を補助します。また、下記以外にも申請に係る要件などがありますので、詳細はホームページをご覧ください。

●補助の内容

補助対象住宅	補助対象経費	補助金の額
新築住宅	建築費（購入費）	補助対象経費の10分の1（上限100万円）
中古住宅	購入費（※）または改修費のいずれか	補助対象経費の2分の1（上限50万円）

（※）中古住宅の購入費の補助は、「平成28年4月1日以降に、上十三・十和田湖広域定住自立圏（※1）外から転入する人」が対象です。

●さらに、次に該当する世帯の場合は上乗せ補助があります。

補助対象世帯	上乗せ補助金の額
若年夫婦世帯（本人と配偶者いずれも40歳未満の世帯）	10万円
子育て世帯（18歳未満の子を擁する世帯）	10万円（子ども一人につき）
三世同居世帯（18歳未満の子と本人か配偶者のいずれかの親を擁する世帯）	10万円

※1 上十三・十和田湖広域定住自立圏とは十和田市、三沢市、野辺地町、七戸町、六戸町、横浜町、東北町、六ヶ所村、おいらせ町、小坂町で構成する圏域をいいます。

空き家バンクを利用する人に対し、支援を実施します

市への移住・定住を促進するため、空き家バンクを利用する人で売買か賃貸借の契約をした人に対して、奨励金などの支援を実施します。下記以外にも申請に係る要件などがありますので、詳細はホームページをご覧ください。

補助対象者	補助対象経費等	補助金等の額
空き家登録者（※2）	空き家登録奨励金	5万円（1人につき1回限り）
	家財道具などの整理にかかる経費	補助対象経費の3分の2（上限10万円）
利用登録者（※3）で若年夫婦世帯か子育て世帯に該当する人	空き家の家賃	上限2万円／月

※2 空き家登録者とは、空き家バンクに空き家を登録している所有者のことを指します。

※3 利用登録者とは、空き家バンクに登録されている空き家などの購入や賃借を希望する人で、空き家バンクに利用の登録をしている人のことを指します。

平成28年度十和田市総合防災訓練が実施されます

☎ 総務課防災係 ☎⑤ 6703

市では、十和田地域広域事務組合消防本部をはじめ防災関係機関・団体と地域住民の協力を得て総合防災訓練を行います。総合防災訓練は、大きな被害をもたらす地震災害などが発生した時の応急対策を迅速・的確かつ総合的に実施できるよう各種訓練を行うことにより、防災体制の強化と地域住民の人々の防災意識の高揚を図ることを目的としています。なお、訓練は、どなたでも参観できます。

と き 5月31日(火) 午前9時～午後0時40分
と ころ 十和田市役所、洞内小学校、おらんどーむ ほか

- ・訓練当日は、実施場所周辺でサイレンを鳴らしますので、火災などとお間違えのないようお願いいたします。
- ・訓練では、多くの緊急車両、ヘリコプターなどが出動するほか、訓練会場周辺では交通規制を実施する場合があります。付近住民の皆様にはご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。
- ・大雨、強風、雷などの悪天候で各種警報などが発令された場合には、訓練を中止することがあります。



▲負傷者の救助救出訓練の様子

みんなて
出かけよう



上十三・十和田湖広域定住自立圏圏域のイベント情報をお届けします♪

三沢市

だいでろ
森山大道写真展

『裏町人生～寺山修司』

- ▶とき 開催中～9月25日(日)
 - ▶ところ 寺山修司記念館
- 問 寺山修司記念館 ☎⑤3434



七戸町

天王つつじまつり

- ▶とき 5月1日(日)～15日(日)
- ▶ところ 天王神社境内

問 七戸町商工観光課 ☎②2137



ピザカーニバルinしちのへ

- ▶とき 5月15日(日) 午前10時～
- ▶ところ 七戸中央商店街

問 七戸町商工会 ☎②2521



横浜町

2015菜の花フェスティバル inよこはま

- ▶とき 5月14日(土)・15日(日)
- ▶ところ 大豆田地区特設会場

問 横浜町産業振興課 ☎0175⑧2111(内線351)



六ヶ所村

2016たのしむべ! フェスティバル

- ▶とき 5月14日(土)・15日(日)
 - ▶ところ 大石総合運動公園特設会場
- 問 六ヶ所村観光協会 ☎0175⑧2111(内線264)



第5回たのしむべ!
キッズマラソン2016

- ▶とき 5月14日(土)正午～
- ▶ところ 大石総合運動公園 陸上競技場

問 六ヶ所村観光協会 ☎0175⑧2111(内線264)

あなたの街の

法律相談



～第25回～

市民の皆さんの身近な事柄を取り上げ、法律の面から弁護士が解説します。今回は「携帯電話利用契約」についてです。

問 まちづくり支援課 ☎⑤6777

Q 4日間で52万円の携帯電話料金を請求されました。その日はパソコンを携帯電話に接続してインターネットをしました。携帯電話購入時にパケット定額制の契約をしているのに、どうしてこのような高額な請求をされるのでしょうか。

A 高額な料金の請求をされた理由は、携帯電話事業者がパケット定額制のなかで対象外としている使い方をしたことにあると考えられます。

ところで、携帯電話事業者には、契約締結時にパケット通信料金について分かりやすく説明する義務および高額な料金が発生する可能性についての情報提供義務があります。契約締結時、パケット定額制の契約内容や対象外サービスについて十分な説明を受けましたか。まずは、契約時に渡される書面や取り扱い説明書などを確認してみましょう。

Q 確認してみたところ、「パソコンを携帯電話と繋いででのモバイルデータ通信はパケット定額制の対象外であり料金が高額になるおそれがある」と書いてあります。

A そうすると、携帯電話事業者は、契約締結時に一応の情報提供義務を果たしたと言えるでしょう。さらに、携帯電話事業者には、利用開始後の利用料金が高額化した段階で消費者の被害拡大を防止する義務および危険の拡大可能性についての説明義務・情報提供義務がある、とされています。携帯電話事業者から利用料金が高額化していることについて注意喚起する通知が来っていないなどの事情があれば、携帯電話事業者に対し債務不履行責任を追求することが考えられます。

Q 子どもに携帯電話を使わせています。予防策はありませんか。

A まずは家族間でよく話し合います。契約時、お店であらかじめ未成年者が利用することを伝えましょう。携帯電話からの料金確認機能を小まめに利用し、月々の料金に上限を付ける設定の利用も検討しましょう。

(文責・弁護士 橋本 明広)
弁護士法人青空と大地 ☎②15162



食べて、語って、泊まって

十和田でしかできない体験をしよう！

農家のお父さん、お母さんと一緒に農作業をして寝食を共にすることで、その地域で長年培われた文化や知恵を学んだり、人と人とのつながりの温かさや食の大切さを実感するグリーン・ツーリズム。

市では、十和田農業体験連絡協議会（漆坂真会長）と協力しながら、グリーン・ツーリズムを広く展開し、1日最大100人の農業体験者の受け入れを行っています。

あなたも農業体験や農家民泊を通して、十和田でしかできない潤いに満ちた暮らしを体験してみませんか。市内のかたはもとより、市外・県外のかたがたにも十和田の奥深い魅力を発信しましょう。



受入期間 通年
 受入人数 宿泊 1名以上50人程度まで
 日帰り 1名以上100人程度まで

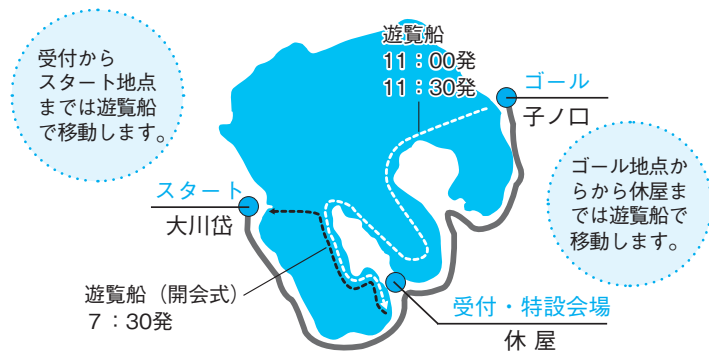
料金例
 宿泊 ▶ 9,400円
 （農業体験1泊2日、昼・夕・朝食付き）
 日帰り ▶ 3,800円（農業体験1日、昼食付き）
 ※受け入れ農家も随時募集しています。



祝 十和田八幡平国立公園十和田八甲田地域指定80周年 “神秘の湖を走破する”

第1回十和田湖マラソン大会 ランナー・ボランティアスタッフ募集

とき 7月10日(日) 午前9時スタート
 ところ 特設会場『十和田湖休屋地区』



■ランナー募集（先着500人）

種目	部門	参加費	制限時間
ハーフコース (約21km)	高校生以上39歳以下	男	4,000円 150分 (途中関門有り)
		女	
	40歳以上49歳以下	男	
		女	
	50歳以上59歳以下	男	
		女	
60歳以上	男		
	女		

申込期限 5月20日(金)消印有効

申し込み方法

- ①インターネット <http://runnet.jp> (ランネット)
- ②パンフレット付属の払込取扱票による郵便振替

▶パンフレットの請求は

十和田湖マラソン大会 パンフレット発送センター
 〒152-8532 東京都目黒区原町1-31-9 ☎03-3714-7924
 ※パンフレットは十和田商工会議所にもあります。
 ※大会の詳細はホームページをご覧ください。

<http://www.towada.or.jp/yeg/towadakomarathon.html>

申問 十和田湖マラソン大会実行委員会事務局

☎ 011111・FAX 01563

メール towadakomarathon@gmail.com

■ボランティアスタッフ募集（50人）

対象 高校生以上
 内容 受付係、参加賞配布係、コース内誘導係など
 従事時間 現地にて午前6時～午後2時頃
 申込期限 5月20日(金)
 申し込み方法 氏名・生年月日・住所・電話番号を記載の上、メールかファクスで送信してください。
 ※詳細は6月中旬までに連絡します。
 市役所前からボランティアの送迎バスが出ます。



5月の健康カレンダー



●乳幼児健診・母子健康相談

▶問診票・母子健康手帳を持参してください。

内容	受付時間	ところ・問い合わせ
◆4か月児健診 健診日までに満4か月に達する乳児	10日(火) 12:00~12:45 ※バスタオル持参	保健センター 健康増進課 ☎⑤6792
◆1歳6か月児健診 平成26年11月生まれの幼児	18日(水)※歯ブラシ持参 12:00~12:45	
◆2歳児発達健診 平成25年11月生まれの幼児	19日(木)※歯ブラシ持参 12:00~12:45	
◆3歳児健診 平成24年11月生まれの幼児	17日(火) 12:00~12:45	
◆パパ・ママ教室 妊婦とその家族、妊娠・出産・育児の心構え、赤ちゃんふれあい、調理実習	13日(金) 12:30~13:00 ※6日までに要予約	
◆子どものこころの相談 小・中・高校生	12日(木)14:00~ ※6日までに要予約	

※2歳児発達健診は2歳6か月児が対象です。問診票は1歳6か月児健診時に母子健康手帳に挟めて配布しています。

※3歳児健診は3歳6か月児が対象です。
※発熱や感染症治療中のときは、翌日以降に受診してください。
※駐車場は、近隣の有料駐車場をご利用ください。

●各種相談

内容	受付時間	ところ・問い合わせ
◆こころの相談 心の悩み、不眠、飲酒など気がかりのある人、家族	6月1日(水) 14:00~15:00 ※30日(月)まで要予約	保健センター 健康増進課 ☎⑤6791
◆栄養相談 市内在住の人	12日(木) 9:30~13:15~ ※10日(火)まで要予約	
◆もの忘れ相談 もの忘れや認知症の不安がある65歳以上の人、家族	18日(水) 14:00~15:30 ※13日(金)まで要予約	市役所新館3階会議室C 高齢介護課 ☎⑤6720
◆療育相談 首すわり、おすわり、歩き始めが遅い気がするなど発育や発達について心配のあるお子さんの家族	25日(水)※要予約 継続の人 ▶9:30~10:30 新規の人 ▶10:30~11:00	上十三保健所 ☎③4261
◆B型・C型肝炎検査 一般の人	10日(火)・17日(火)※要予約 13:00~13:30	
◆精神保健福祉相談 心の悩みや病気に関する相談を希望する人	18日(水)※要予約 13:00~14:00	
◆女性健康相談 思春期や不妊、更年期障害などにお悩みの人	19日(木) 10:00~10:30	
◆エイズに関する相談 一般の人	10日(火)・17日(火)※要予約 13:30~14:30	

●献血のお知らせ 問健康増進課健康管理係☎⑤6790

実施予定日	時間	場所
3日(火)	9:30~11:45	ホームック(株)十和田店
	13:00~16:00	
8日(日)	10:00~11:45	イオンスーパーセンター十和田店
	13:00~16:00	

健康診査は申し込みましたか？

集団方式（早朝健診・婦人科健診）の日程は、学区や地区ごとに割り振りをしてはいますが、自動的に申し込みにはなりません。

まだ申し込みをしていない人や日程などの確認・変更を希望される人はご連絡ください。

▶3月29日以降に申し込みをした人で、日程などを確認していない人は、お問い合わせください。

▶協会けんぽ・共済組合・健保組合などの被扶養者（40歳以上）の人の特定健診の申し込みは、**青森県総合健診センター☎017-741-2336**になります。

問健康増進課健康管理係☎⑤6790

成人の風しん抗体検査と予防接種

費用を助成します

対象

市内に住所のある次のいずれかの人

- ①妊娠を予定される女性、その夫および同居家族
- ②抗体価の低い妊婦の夫および同居家族

助成内容

- ①風しん抗体検査費用
- ②風しんまたは麻しん風しん混合ワクチン接種費用

※抗体検査を受けて、十分な抗体価がなかった場合に予防接種を行います。

申し込み方法など詳細はお問い合わせください。

問健康増進課健康管理係☎⑤6790

第1回さわやか健康講座

健診センター医師が教えます！

「健診結果」の活用ポイント

健診は「受けた後」がとても重要です。

「結果表のどこに注目すればいい？」「この検査で何が分かるの？」そんな日頃の疑問を解決し、これからの健康管理に役立てる秘訣について学びましょう。

「健康とわだポイントラリーPART3」対象講座です。

とき 6月2日(木) 午後1時30分~3時

※受け付けは午後1時からです。

ところ 保健センター

講師 市立中央病院 健診センター

室長 高井哲史医師

申込期限 5月26日(木)



問健康増進課健康づくり推進係☎⑤6791



4/15

中心街に集い介護予防の健康づくり

トワレ de いきいき交流会

市は、中心商店街に高齢者が気軽に参加できる集いの場を設け、介護予防に関する知識の普及や体力づくり、介護相談に応じるため、市民交流プラザ「トワレ」で、『トワレ de いきいき交流会』をスタートさせました。

この日の参加者は14人。在宅介護支援センター職員から指導を受け、ストレッチ体操や筋力向上体操、口腔体操、レクリエーションなどの介護予防運動を行いました。交流会は毎週金曜日、年間48回開催する予定です。



参加者は「ハイハイハイ！」と大声を出しながら手指を動かすなど、笑いとともに心地よい汗を流しました



初日はあいにく波浪のため全便が欠航。観光客のニーズに応えようと意気込む白石代表取締役（写真左）とガイドの皆さん

4/15

湖上から新緑の絶景を楽しもう

十和田湖遊覧船運行スタート

十和田湖遊覧船運行開始セレモニーが、十和田湖観光交流センター「ぶらっと」で開催され、関係者約40人が出席しました。

主催者の十和田観光電鉄の白石鉄右エ門代表取締役は、「十和田湖が国立公園指定80周年を迎える今年、若者たちが十和田湖を元気にするさまざまなイベントを企画しています。遊覧船も最大限に協力して、官民一体となって十和田湖を活性化していきたい」とあいさつしました。

4/14

スタートは気付きから

発達障害の可能性のある児童らを早期支援

『発達障害の可能性のある児童生徒に対する早期支援研究事業運営協議会』の高木守雄副会長（ちとせ小学校校長）と高松純一副会長（西小学校校長）が教育委員会を訪れ、『通常学級に在籍する発達障害の可能性のある児童生徒に対する早期支援のためのパンフレット』が完成したことを米田教育長に報告し、パンフレットを500部贈呈しました。このパンフレットは、各学校や幼稚園、保育園の先生へ配布する予定です。



パンフレットを贈呈した高木副会長（ちとせ小学校校長・写真左）と米田教育長（写真右）



古川遼真くんと山崎彩里ちゃん（ともに南小1年）が、事故にあわない誓いの言葉を元気よく宣言しました

4/5

あなたも参加 わたしもやります “交通安全”

十和田地区交通安全総決起大会

市民文化センターで、春の全国交通安全運動の一環として、十和田地区交通安全総決起大会が開催され、十和田地区交通安全母の会など約280人が参加しました。

十和田地区交通安全協会の田島一史会長は「自分自身で交通ルールを守っているか再確認し、交通事故のない安全・安心のまちづくりの第一歩としましょう」と参加者に呼び掛け、最後に、(株)みどりの荻沢美稀さんが参加者を代表して、交通安全宣言を行いました。



市役所代表

☎ 23 5111

FAX 22 5100

土・日曜日および祝日は閉庁

◆お知らせの表記

☎…問い合わせ先

☎…申し込み先

※費用の記載がないものは無料です。

長寿祝金が変わります

市では、高齢化社会の進展を見据えて長寿祝金を見直します。今後はこの事業に加えて、運動習慣の定着や冬場の運動不足解消に向けた事業を実施し、高齢者がいつまでも健康で元気に過ごせるよう健康長寿事業の充実を図りますので、ご理解、ご協力をお願いします。

▼満88歳 顕彰状と記念品（経過措置として平成27年9月2日～28年3月31日までに満88歳となる人は祝金1万円贈呈）

▼満99歳 顕彰状と祝金10万円
☎ 高年齢介護課 23 6720

7月1日から①中央駐車場②北園駐車場③西二番町駐車場④中央病院駐車場の利用料金が変わります

▼①～③共通（24時間利用可）
普通自動車等 200円

※③西二番町駐車場
定員11～29人以下のバス 410円

※利用時間は現代美術館の開館時間内に限ります。

④中央病院駐車場
1日1回200円
定期駐車券1枚 1600円

（定期駐車券は入院患者の家族専用）
☎ 管財課 23 6707
☎ 中央病院業務課 23 5121

政策財政課からのお知らせ

■経済センサス活動調査を実施します

総務省と経済産業省は、6月1日現在で平成28年度経済センサス活動調査を実施します。全国全ての事業所や企業が対象となりますので調査のご協力をお願いします。

▼調査書類は、調査員または郵送により5月末までにお届けします。

▼インターネットでの回答を推奨しています。

▼調査の回答内容は、統計法により適正に管理されますので、利用目的外に使用されることは絶対ありません。

■第2次十和田市総合計画「基本構想（原案）」へのご意見をお寄せください

この計画は、本市の総合的・計画的なまちづくりを推進するための行政計画で、基本構想、基本計画、実施計画で構成されています。基本構想の計画期間は平成29年度から38年度の10カ年で、目指すまちの将来都

市像や基本理念、まちづくりの方針を示すものです。基本構想原案に対する市民の皆さんのご意見・ご提言を募集します。

受付期間 5月20日（金）まで
提出方法 持参、郵送、ファクス、メール

※詳細は市ホームページ、政策財政課に設置の冊子で確認ください。

☎ 申問 政策財政課 23 6710
FAX 24 9616、メール・

seisakuzaisai@city.towadai.lg.jp

電力小売自由化に伴うセミナー

4月から電力小売全面自由化が開始されました。これに伴い、一般家庭を含む全ての人が現在契約している電力会社を含む、多様な小売業者から選択できるようにになりました。電気料金メニューを選ぶ際のポイントや留意点などを説明します。

とき 5月24日（火）午前10時～

ところ 東北電力十和田営業所
申込期限 5月12日（木）

☎ 申問 市消費者の会（市外郭団体事務室）
23 6783・FAX 23 5571

健康増進課からのお知らせ

■5月から十和田湖診療所

診療日・時間が変更になります

診療日 毎週月・木・金曜日

診療時間 午前10時30分～正午および午後1時～4時

び午後1時～4時

※5月2日は午後1時～
▼医師 弘前大学医学部派遣医師
「健康づくりをたのしもう！」
「健康とわだポイントラリーPA
RT3」が始まります

特定健診やがん検診などの各種健康検査受診や健康講座に参加してポイントを集めましょう。ポイントを集めると市内運動施設無料利用券などの「参加賞」と交換できます。さらにポイントを集めると500円相当の商品券と交換できます（詳細は保健センターに設置のポイントカードパンフレットで確認してください）。

対象 平成28年度20歳以上の人
参加賞の応募と引換期間
7月4日（月）～平成29年2月28日（金）
☎ 健康増進課 23 6791

住宅リフォームに助成

既存の住宅性能向上などのためのリフォームに助成します。

対象既存住宅 新築を除く一戸建て住宅

助成条件 住宅性能向上を満たす次のいずれかの改修工事

- ①耐震性能②省エネルギー性能
- ③バリアフリー性能④雪雪性能
- ⑤防災性能

助成額 耐震性能向上は総工事費の20%（上限60万円）、それ以外は10%（上限20万円）

☎ 申問 都市整備建築課 23 6738

軽自動車税に関するお知らせ
■軽自動車の減免申請を受け付けます

軽自動車では次の要件に該当する人は障害の程度、所有者、使用状況などにより減免されません。該当する人は収納課へ申請してください。

要件 ①身体障害者手帳、戦傷病者手帳が交付されている人が車を運転する場合②これらの手帳、療育(愛護)手帳、精神障害者保健福祉手帳が交付されている人のために、生計を共にする人や常時介護者が運転する場合

申請期間 5月2日(月)～31日(火)
持参する物 ▼車検証 ▼身体障害者手帳などの手帳 ▼運転者の免許証

▼申請者印鑑 ▼納税通知書

※②の場合は他に生計同一証明書か常時介護証明書(生活福祉課で交付)

※普通自動車と重複しての減免申請はできません。

申問 収納課 ☎ 6760

■軽自動車税の税率が変わりました

地方税法の改正に伴い、軽自動車税の税率が、次表のとおり変わりました。

小型特殊自動車の税率の変更はありません。詳しくはお問い合わせください。

問 収納課 ☎ 6765

▶原動機付自転車、二輪の軽自動車・小型自動車

種別	税率	
原動機付自転車	50 cc以下	2,000 円
	50 cc超 90 cc以下	2,000 円
	90 cc超 125 cc以下	2,400 円
	ミニカー	3,700 円
	二輪の軽自動車	250 cc超
小型自動車	250 cc超	6,000 円

▶三輪以上の軽自動車

種別 (主なもの)	右欄の重課税率◎適用対象前		初度検査年月から14年を経過した月の属する年度以後
	初度検査年月が平成27年3月以前	初度検査年月が平成27年4月以後	
	税率(A)	税率(B)	重課税率◎
四輪 / 乗用 / 自家用	7,200 円	10,800 円	12,000 円
四輪 / 貨物 / 自家用	4,000 円	5,000 円	6,000 円

※初度検査年月…自動車検査証に記載

※重課税率◎は平成28年度においては初度検査年月が平成14年以前のものに適用

※平成28年度には、一部の軽自動車に下表の軽課税率が適用

水道メーターの定期交換
 水道メーターは、計量法により8年以内に交換することが義務付けられています。市が発行する身分証明書を携帯した委託業者が、作業のため5月中旬から10月上旬まで敷地内に立ち入ることになります(立ち会い不要)。不在時でも作業します。で、ご理解とご協力をお願いします。

問 水道課 ☎ 254515

▶今年度の特例として、初度検査年月が平成27年4月～平成28年3月までの三輪以上の軽自動車のうち一定の環境性能を有するものに軽課税率が適用されます。

種別 (主なもの)	電気自動車	H17 排ガス基準 75%低減達成のガソリン車・ハイブリット車			
		乗用	貨物用	乗用	貨物用
		H32 燃費基準 + 20%達成	H27 燃費基準 + 35%達成	H32 燃費基準達成	H27 燃費基準 + 15%達成
軽課税率 (1)		軽課税率 (2)		軽課税率 (3)	
四輪 / 乗用 / 自家用	2,700 円	5,400 円		8,100 円	
四輪 / 貨物 / 自家用	1,300 円	2,500 円		3,800 円	

【有料広告欄】 総務課広報男女参画係 ☎ 6702

いずみ法律事務所 弁護士 鈴木 陽大
 弁護士 花生 耕子
 青森県弁護士会所属

**離婚、相続、不動産
 交通事故、債務整理**

その他、様々な法的なお悩みについて
 法律問題の専門家である弁護士にご相談を
 ☆初回30分法律相談料無料

TEL 0176-58-6558
 青森県十和田市西一番町17番6号 2階
<http://izumi-law.sakura.ne.jp>

《お気軽にご相談ください》

弁護士法人 青空と大地
 (青森県弁護士会所属)
 代表弁護士 橋本明広
 十和田市西三番町1番42号 NTT十和田ビル2階

取扱業務
 民事全般、不動産、離婚、相続、成年後見、債務整理、会社関係、刑事
 (上記以外の事件も取り扱っています。)
 相談料 初回60分 5,000円(税別)
 (個人の多重債務相談は無料です。)
 相談は電話又は来所による予約制です。

☎0176 (21) 5162 (受付時間 平日9時～17時30分)
<http://www.aozora-daichi.com>

固定資産税の納税通知書をご確認ください 住宅用地は税負担が軽減されます

国税務課土地係 ☎⑤ 6768

住宅やアパートが建っている土地（住宅用地）は、特例制度により税負担が軽減されます。

※店舗、工場などが建っている土地や空き地は対象となりません。

平成 28 年度 固定資産税・都市計画					0000 - 0	
区分	所在地番		内訳		建築年	標準額(円)
	課税面積 (㎡)	本年度評価額(円)	棟番	順次		
土地	西十二番町 157		特例	住宅用地	宅地	標準額(円)
	500.00	7,500,000				

納税通知書の4枚目の課税明細書をご確認ください。住宅用地の特例制度が適用されている土地には「住宅用地」と記載があります。



介護支援員（非常勤職員）募集

対象

▼介護支援専門員・介護福祉士
▼普通自動車運転免許証を有し、パソコン操作できる人

勤務場所 地域包括支援センターなど

業務内容 介護予防プラン作成、総合相談、包括的・継続的ケアマネジメント支援業務など

募集人員 1人

勤務日 月～金曜日（祝日を除く）
※午前8時30分～午後5時15分
シフト勤務もあり

月額報酬 17万9300円

（社会保険・雇用保険加入）

面接試験 5月20日（金）、午後2時

市役所本館3階第2委員会室

提出書類 履歴書（市販のものに顔写真貼付）、資格を有することを証明する書類の写し、自動車運転免許証の両面の写し

受付期間 5月1日（日）～18日（水）
（土・日曜日、祝日を除く）

申込み方法 持参または郵送
午前8時30分～午後5時15分

申請 包括支援センター

☎⑦ 3671

各選挙期日前投票立会人募集

応募された人を登録し、その中から選挙があるごとに期日前投票立会人を選任します（選任された人は別途通知）。

対象 本市の選挙人名簿に登録されて特定候補者に関係のない人

立会日時 期日前投票期間中の数日、午前8時30分～午後8時

立会場所 期日前投票所（市役所、十和田湖ふるさと皆館、市民交流プラザ「トワール」、イオンスーパーセンター十和田店）

報酬 日額9千円

申し込み方法 持参、郵送、ファクス、※郵送は〒034・8615（住所記載不要）、申込書は事務局で配布、または市ホームページからダウンロードできます。

申請 選挙管理委員会事務局

☎⑤ 6778

十和田B&G海洋センタープール監視員募集

対象 18歳以上で泳げる人

業務内容 ▼監視▼清掃▼受け付け

▼環境整備など

雇用期間 6月11日（土）～9月11日（日）
時間 午前8時30分～午後5時15分

募集人員 7人程度
※7・8月は午前8時30分～午後9時15分のシフト制

賃金 日給6400円（週1～2日）

申込期限 5月22日（日）まで
申し込み方法 履歴書（市販のものに顔写真添付）を総合体育センター1窓口へ持参してください。

面接試験 5月24日（火）午前9時～、2階研修室

申請 総合体育センター ☎⑤ 8282

男女共同参画市民情報誌「ゆっパル」編集委員募集

対象 市内在住で男女共同参画に興味がある人

内容 市民情報紙の企画・編集
募集人員 6人

任期 平成29年3月31日

謝礼金 1人1万円（年間）

申込期限 5月20日（金）まで

申し込み方法 次の①～⑤を明記した書類を持参または郵送、ファクスで提出してください。

①氏名（ふりがな） ②年齢 ③住所

④連絡先 ⑤応募理由400字程度

※⑤については未経験者のみ

※提出した書類は返却しません。

※選考結果は書面で通知します。

※過去の「ゆっパル」は、市ホームページに掲載しています。

申請 総務課広報男女参画係

〒034・8615（住所記載不要）

☎⑤ 6702 FAX② 5100



「とわだ生涯現役プロジェクト」
取り組み団体の募集

地域による支え合い体制づくりのために、高齢者自身による日常生活支援活動などの立ち上げ、拡充を行う地域団体を募集します。(審査で決定)

- 活動内容 ①生活支援型(買い物・ゴミ出し・通院などの外出支援)
②生きがい対応型(社会参加・交流の場の確保) ③介護予防・健康づくり型(①②③のいずれか)

※活動は1年以上で月複数回以上
募集数 8団体(団体構成は5人以上)
助成額 1団体10万円(翌年7万円)
応募受付 5月2日(月)～23日(月)
事業実施期間 7月～平成29年3月

申問 高齢介護課 ☎⑤16720

平成28年度自衛官募集		
自衛隊青森地方協力本部三沢募集案内所 ☎③1346		
募集種目	一般幹部候補生 (一般・飛行)	自衛官候補生 (男子)
応募資格	平成29年4月1日現在 22歳以上26歳(修士課程 修了者は28歳)未満の人	採用予定月の1日現在 18歳以上27歳未満の人
受付期間	3月1日(火)～5月6日(金)	5月18日(水)～6月10日(金)
試験期日	5月14日(土) 筆記試験 5月15日(日) 筆記式操縦適性検査 (飛行要員のみ)	6月18日(土) 筆記試験、口述試験、 適性検査、身体検査
試験場所	別途連絡します	青森駐屯地 八戸駐屯地

スポーツ・生涯学習課からの募集
■十和田市フレッシュコンサート出
演者募集

とき 8月21日(日)、午後2時開演
ところ 市民文化センター
対象 市にゆかりのある、音楽に関
係する高校、大学(短大を含む)、
専門学校に在学中または卒業後お
おむね5年程度の人

定員 10人程度
演目 声楽・楽器
出演料 無料(旅費、伴奏者への謝
礼などは出演者の負担)
申し込み方法 出演申込書に必要事
項を記入の上、持参または郵送、
ファクスで提出してください。

■市民文化センター第三ステージ利
用団体募集

大ホール、生涯学習ホール以外の
研修室などを無料でお貸しします。
対象 市内で芸術文化活動を行って
いる団体・個人

募集団体 5団体以内
貸出期間 1団体につき、連続した
2日間

※期間内に準備、本番を行うこと
選考方法 審査を行い、利用の可否
決定します。

◆いづれも

募集期限 5月31日(火)

申問 スポーツ・生涯学習課

☎⑦2313

講座・教室

十和田湖公民館講座

■伝統工芸講座「裂き織教室」

先人の知恵を体験してみませんか。
とき 6月3日(金)～28日(火)、毎週
火・金曜日(全8回)

午前9時～午後3時
定員 10人(応募多数時抽選)

費用 材料費実費負担

申込期限 5月13日(金)(初心者歓迎)

申問 十和田湖公民館 ☎⑦2102

食生活改善推進員養成講座受講生募集

家族や地域の健康づくりのため、
栄養・食生活について学びませんか。
とき 6月2日(木)、28日(火)、7月3
日(日)、15日(金)、26日(火)、8月3日
(水)(全6回) 午前10時～

ところ 市保健センター
対象 ▼市内在住のおおむね65歳未
満の人で全日程受講可能な人▼講
座終了後、市食生活改善推進員と
して活動できる人

定員 30人

講座内容 生活習慣病予防、食育、
食品衛生、料理実習など

費用 テキスト代1200円程度
(食料費別)

申込期限 5月13日(金)

申問 健康増進課 ☎⑤16791

【有料広告欄】 総務課広報男女参画係 ☎⑤16702

おうち買い取りNo.1*のカチタスが

あなたのおうちを、
買い取ります

お手持ちの「家」、お売りください

空家家で
管理が大変

売りたいが、人に
知られたくない

相続したが
不要

現金化したい

買取査定・
買取相談が
無料0円

株式会社 カチタス十和田店 ☎0120-36-2247
〒034-0001 十和田市大字三本木字福吉 85-66 国土交通大臣免許(5)第5475号

甲種防火管理者資格取得講習

とき 7月7日(木)～8日(金)

午前10時～午後4時ごろ

ところ 十和田消防庁舎

定員 先着80人

受講料 4500円(テキスト代)

受講手続き 各消防署にある申込書

に記入の上、テキスト代を添えて

申し込みしてください

受付期間

▼市または六戸町の事業所に勤務・

居住している人は、6月6日～10日

▼全ての人6月13日～14日

(定員に満たない場合に限る)

申問 十和田地域広域事務組合消防本部

☎ 4113

東公民館放課後子ども教室

(子ども茶道教室) 参加者募集

とき 6月～平成29年2月

毎月2回、主に第1・第3土曜日

午前9時30分～11時30分

ところ 東公民館

対象 市内の小学3～6年生

定員 10人(先着順)

内容 茶道の作法入門

持ち物 白ソックス、ハンカチ、伊

達締め

申込期限 5月20日(金)

※保護者の送迎が必須です。

申問 スポーツ・生涯学習課

☎ 2318

社会福祉の講座・研修受講生募集

■手話講習会

あいさつや指文字など日常生活使

用の手話単語学習で初心者向け。

とき 5月18日～7月20日(毎週水

曜日) 午前10時～11時30分

定員 15人程度

費用 972円(テキスト代)

■福祉教育インストラクター養成研修

学校や地域で福祉教育の指導を行

うボランティア。活動に必要な知識

や車イス利用者・視覚障害者への介

助方法などを学びます。

とき 6月9日(木)

午前10時～午後3時30分

定員 20人

持ち物 昼食、動きやすい服装

申込期限 6月1日(水)

■手話奉仕員養成講座(入門課程)

手話で日常生活の会話ができる程

度の手話奉仕員を養成するための講

座です。初心者の人もどうぞ。手話

の基本を身に付けてみませんか。

とき 6月1日～10月19日(毎週水

曜日) 午後7時～8時30分

対象 18歳以上の人

定員 30人程度

費用 3240円(テキスト代)

申込期限 5月17日(火)必着

◆いずれも

ところ 市民交流プラザ「トワール」

申問 社会福祉協議会 ☎ 2992

FAX ☎ 3227

十和田ファミリースポーツセンター 支援会員養成講座

子育て中の人から依頼を受けて、

お子さんを預かったり、保育施設な

どへ迎えに行ったりする支援会員を

養成する講座です。

とき 6月6日(月)～10日(金)

午前8時30分～午後4時

ところ 子育て支援センターエンゼル

対象 市内に在住または勤務の人

定員 15人

費用 2300円(テキスト代など)

持ち物 筆記用具

申込期限 5月20日(金)

※詳細はお問い合わせください。

申問 十和田ファミリースポーツセ

ンター ☎ 0441

リフレッシュスポーツ教室第1期

とき 5月18日～7月20日

(毎週水曜日)

①午前10時～正午

②午後1時30分～3時30分

ところ 総合体育センター

対象 ①18歳以上の男女(学生を除

く) ②シニア女性(概ね60歳以上)

内容 各種軽スポーツ

定員 ①②各35人(先着順)

費用 65歳未満2500円、65歳以

上1800円

申込期限 5月5日(祝)～16日(月)

受付時間 午前9時～午後8時

申問 総合体育センター ☎ 5555

【有料広告欄】 総務課広報男女参画係 ☎ 6702

(株)東北共立・県南環境保全センター(株)が
管理運営する十和田市民文化センターは

年中無休です

月曜休館はありません
(年末年始を除く)

十和田市民文化センター 22-5200 / fax 22-5098
指定管理者「東北共立・県南環境保全センターG」

借金のご相談 無料 任意整理...1社2万5千円

アカシアの森法律事務所

青森県弁護士会所属 弁護士 今井 正

①大手消費者金融へ5年以上返済を続けている。
②金利が25パーセント前後だった。

上記①、②に該当した方は過払い金が戻ってくるかもしれません。
貸金業者が倒産する前に、善は急げ!まずはお電話ください。

ご相談はお電話で ☎0176-51-4317
ご予約ください。 http://www.acacia-forest.jp アカシアの森法律事務所 検索
〒034-0082 青森県十和田市西二番町8-4 (十和田市現代美術館駐車場隣)

催し

宝くじ文化公演

「高嶋ちさ子ピアノクインテット」

とき 7月27日(水)

午後6時30分開演(開場午後6時)

ところ 市民文化センター

出演 高嶋ちさ子・「男組」

入場料 前売り1500円(当日

2千円)、※宝くじ助成特別料金

チケット販売 5月20日(金)

午前10時(全席指定)

販売場所 市民文化センター、イオ

ンスーパーセンター十和田店ほか

主催 (二財)自治総合センター

間 スポーツ・生涯学習課

☎ 2313



オープングーデンとわだ開催

オーナー自慢の花壇を鑑賞してみませんか。今回は23カ所の花壇を公開しています。

開催期間 5月1日(日)～10月31日(月)

午前9時～午後4時

観賞方法 市都市整備建築課や公民館などに備え付けのパンフレットを参照し、場所などを確認して観賞してください。パンフレットは

市ホームページにも掲載。花壇に

は目印の「OPEN」「CROSS

E」の看板を設置。

間 都市整備建築課 ☎ 4515

太素祭「太素塚イベント」

太素塚は稲生川を引いて郷土を開拓した開祖・新渡戸傳の墓所です。建立から150年の節目に、参拝をお待ちしています。

とき 5月3日(水)～5日(金) 午前10時～

午後4時(4日は午後5時まで)

ところ 太素塚および特設テント

▼太素塚市民参拝受付 開拓者たちの御霊をまつる「顕彰堂」を開けてお待ちしています(太素顕彰会)。

▼武士道カフェ 新渡戸稲造オリジナルメニューのコーヒー、ケーキ、限定グッズ販売

▼開拓の祖パネル展 三本木原の農業開拓者たちの歴史を紹介

▼その他 クイズラリー、茜ぞめ・ピザづくり体験など(材料費別途)

間 共創郷土事務局・角田 ☎ 080-5578-5939

市老人クラブ連合会「交通安全・防犯大会」(会員増強)

航空自衛隊北部航空音楽隊の演奏などがあります。多数ご参加ください。

とき 5月26日(木) 午後1時～

ところ 市民文化センター

間 市老人クラブ連合会事務局

☎ 8633

戦場カメラマン渡部陽一氏講演

カメラマンの仕事を通して政界情勢や世界から見た日本の「感謝・あ

たりまえの幸せ」を講演します。

とき 6月5日(日) 午後2時～

ところ 市民文化センター

間 十和田青年会議所

☎ 1958・22464

駒つこランド

■称徳館特別展「チョークアート展」

の「親子チョークアート体験教室」

黒板に鮮やかな色のチョークで描く楽しい体験教室です。

とき 5月15日(日)

①午前11時②午後1時

ところ 馬事公苑称徳館

対象 親子(大人だけでも可)

費用 千円(材料費)

申込期限 5月14日(土)まで

間 馬事公苑称徳館 ☎ 2100

現代美術館

■特別企画展「シンシアリー・ユアーズ」

「親愛なるあなたの大宮エリーより」

脚本家、CMディレクター、映画監督など多彩な活動家の大宮エリーさんの絵画、ドローイング個展です。

とき 5月28日(土)～9月25日(日)

午前9時～午後5時

観覧料 一般600円

高校生以下無料

※2日(月)臨時開館、10日(火)は市民無料デー、16日(日)～20日(金)はメンテナンスのため臨時休館

間 現代美術館 ☎ 1127

【有料広告欄】

総務課広報男女参画係 ☎ 6702

社会福祉法人 福祉の里

老人保健施設 **みのり苑**

〒034-0061
十和田市大字切田字横道100-22
TEL 0176-25-1100 / FAX 25-1115

ケアハウスポータル十和田

〒034-0089
十和田市西二十三番町30-36
TEL 0176-22-2211 / FAX 22-5621

福祉の里 **アネックス元町**

〒034-0002
十和田市元町西一丁目13-36
TEL 0176-21-1888 / FAX 21-1880

福祉の里は子育てにやさしい企業に認定されました。人にやさしく、皆様に安心のサービスを提供いたします。



市民の広場

市民の皆さんが行う催しの紹介、サークルなどの会員募集のコーナーです。**費用の記載がないものは無料**です。掲載希望のかたは市ホームページをご覧ください。

ソフトテニスを楽しみませんか

とき 5月2日(月)～10月22日(土)
午後5時～7時(週3回程度)
ところ サン・スポーツランド
対象 小学3～6年生
定員 10人
持ち物 ラケット、テニスシューズ
費用 8,000円(保険代、登録代)
申込 十和田STC・宮腰
☎ 090-7066-0819

ノルディックウォーク講座

ポールを使った有酸素運動で、運動不足解消、生活習慣病予防に効果的です。

とき 5月13日(金)、15日(日)
午前9時10分～午後3時
ところ 南公民館
定員 各20人
持ち物 運動靴、昼食(ポールは無料で貸します)
申込方法 ハガキに住所、氏名、連絡先、参加日を記入し5月9日(月)まで申込みを(電話申込みは不可)。(〒034-0088 市内西十四番町33-15)
申込 山田いわお ☎ 5558

サークル〈桜・葉桜・姥桜〉手づくり展

七宝焼、粘土工芸、押し花、和紙・布の工芸品、キルトなどの作品展示、一部販売、制作体験を行います。

とき 5月21日(土)～22日(日)
午前9時～午後4時
ところ 市民交流プラザ「トワール」
申込 七宝クラブ・高橋
☎ FAX 23 4978

エコヘルス講座(10回連続講座)

真の豊かさを求めて、食農、医療、環境に関する専門家による講座で、月2回程度で10回開催します。

とき 5月28日(土) 午後2時～4時
ところ 市民文化センター
定員 40人
費用 登録料5,000円(資料代込)
申込 NPO法人八甲田自然塾・新屋敷
☎ FAX 27 5022
メール aray@hakkoda-jyuku.com

十和田ママさんソフトテニスクラブ部員募集

とき 5月6日(金)～
・毎週火・金曜日
午前10時～午後1時
・毎週土曜日 午前10時～正午
ところ 市営庭球場〈三本木中隣り〉(冬季は体育センター)
年会費 7,000円
持ち物 テニスシューズ、ラケット
申込 十和田ママさんソフトテニスクラブ・小川 ☎ FAX 24 2983

「さつきカップ」パークゴルフ大会

腕試しの場、交流を深めるために気軽にご参加ください。

とき 5月15日(日)
午前8時30分～
ところ 高森山総合運動公園パークゴルフ場
対象 18歳以上
定員 150人
費用 1,000円(コース使用料含)
持ち物 パークゴルフ用具(有料貸出あり)
申込期限 5月8日(日)まで
申込 NPO法人十和田市サッカー協会
☎ FAX 20 6100

北海道新幹線開通記念 第3回奥入瀬ガイドウォーク

新緑の奥入瀬をガイドといっしょに歩きましょう。

とき 5月29日(日)
午前9時～午後1時
ところ 奥入瀬溪流(石ケ戸～子ノ口、約9km)
定員 30人(抽選)
持ち物 飲み物、雨具、バス代(帰路子ノ口～石ケ戸)
対象 中学生以上
申込期限 5月26日(金)まで
申込 十和田湖・奥入瀬観光ボランティアの会 FAXのみ 27 2642

市民ナイターソフトボールリーグ戦大会参加チーム募集

とき 5月中旬～10月下旬
(開会式6月10日(金)、午後6時30分、雨天時は市民体育センター)
ところ 南運動広場
費用 16,000円(1チーム)
申込期限 5月16日(月)まで
持ち物 タオル、スポーツドリンク
申込 佐々木スポーツ店 ☎ 23 2449

なぎなた体験会参加者募集

初心者、ジュニア、シニア大歓迎。楽しみながら心と体の健康づくりを。

とき 5月21日(土)
午前10時～正午
ところ 志道館
※当日受け付けします。どなたでも動きやすい服装でお越しください。
申込 十和田市なぎなた協会
小林 ☎ 22 5550

十和田市民グラウンド・ゴルフ大会

とき 5月23日(月)
午前8時30分～正午
ところ 市陸上競技場
持ち物 クラブ、ボール、マーカー
※貸し出しもあります。
定員 170人
参加料 500円
申込期限 5月13日(金)
申込 十和田市グラウンド・ゴルフ協会・山崎 ☎ 25 2407

少林寺拳法教室

護身錬胆、精神修養、健康増進の三徳を備えた少林寺拳法体験教室です。

とき 5月25日(水)、26日(木)、31日(火)、6月1日(水)、2日(木)
午後7時～8時
ところ 志道館
対象 小学1年生～一般
定員 10人
持ち物 タオル、スポーツドリンク
申込 十和田市少林寺拳法協会
☎ 090-2986-9192



5月の市民無料相談

内容	日時
◆行政相談 行政機関などの業務に対する苦情、意見、要望などの相談	2日(月)・16日(月) 2日は十和田湖支所同時開催 午後1時～3時
◆人権相談 いじめや差別、家庭内や隣近所とのめめごとなどの相談	13日(金)・27日(金) 午後1時～3時
◆法律相談(定員7人) 相続、離婚、借金などの相談	25日(水) 午後1時～4時 ※18日(水)午前8時30分から予約開始
◆司法書士相談(定員4人) 登記、相続、借金などの相談	19日(水) 午後1時～3時 ※12日(水)午前8時30分から予約開始
◆不動産相談(定員4人) 不動産の売買、不動産の賃貸借などの相談	12日(水) 午後1時～3時 ※1週間前までに要予約
◆くらしとお金の相談 多重債務、生活資金などの相談	11日(水) 午前10時～午後4時 ※要予約
◆法テラス青森(法律相談) 借金・離婚・労働問題などの相談 ※資力基準に該当する人	10日(火)・24日(火) 午後1時～4時 ※予約先 ☎050-3383-5552
◆消費生活相談 悪質商法、架空請求、製品事故などの消費生活の相談	毎週月～金曜日 午前8時30分～午後4時30分 ※要予約
◆交通事故相談 交通事故による損害賠償、示談などの相談	17日(火) (予約があった場合に開催) ※予約先県庁 ☎017-734-9235

ところ まちづくり支援課市民相談室

申まちづくり支援課 ☎⑤6777

内容	日時
◆市税夜間納付・相談窓口	9日(月)～13日(金) 23日(月)～27日(金) 30日(月)～6月3日(金)

とき 午後5時30分～8時 ところ 収納課
※本館北側職員通用口からお入りください
(午後6時以降は正面玄関から入れません)。

☎収納課 ☎⑤6761

市税などの口座振替案内

あなたが指定する市内の金融機関口座から振替納付ができますので利用してください(年金天引きの市県民税除く)。

- ▶手続場所 収納課、十和田湖支所、市内金融機関
- ▶持参する物 納税通知書、通帳・届出印

申☎収納課 ☎⑤6762

介護保険料未納者は早めの納付を

平成26・27年度の保険料を納めていない人は、早めに納付してください。納付が困難な状況にある人には納付相談を実施していますので、早めに来庁ください。

納付期限内に納付約束を行えば、督促手数料や延滞金が加算されずに済みます。

☎高齢介護課 ☎⑤6721



休日当番医 ☎健康増進課 ☎⑤6790

1日(日)	佐藤内科クリニック ☎⑤2888
3日(火)	十和田第一病院 ☎⑤5511
4日(水)	えとクリニック ☎⑤2525
5日(木)	藤井産婦人科医院 ☎⑤5588
8日(日)	石川医院 ☎⑤2114
15日(日)	藤原内科 ☎⑤0770
22日(日)	十和田産婦人科内科クリニック ☎⑤7777
29日(日)	かわむらクリニック ☎⑤1505

その他の催し <>…開始時間

1(日)	▶青森国際写真集団 写真展 ～市民文化センター (☎青森国際写真集団 ☎⑤5428 佐藤) (～31日) ▶夢の花道 若手花形座長第幾演<11:00> ～市民文化センター (指定席2,500円、自由席2,000円※当日券500円増) (☎早乙女清次郎・佐々木 ☎⑤4917)
7(土)	▶紙しばい倶楽部とわだ読み聞かせ <10:30>～市民図書館 (☎市民図書館 ☎⑤7808)
11(水)	▶おしゃべりサロン「クローバー」<①10:00②13:30> ～市保健センター (☎傾聴サロンとわだ ☎090-2796-0999 黒子)
14(土)	▶話しのサロン・こころの広場「ルピナス」<10:00> ～十和田市勤労青少年ホーム (☎市保健センター ☎⑤6791) (28日も開催) ▶語りの会・こま草読み聞かせ「おはなしのゆうびんやさん」 <①10:30②14:00>～市民図書館 (☎市民図書館 ☎⑤7808) (28日も開催)
21(土)	▶わっこの会読み聞かせ<10:30>～市民図書館 (☎市民図書館 ☎⑤7808) ▶三本木高校吹奏楽部第45回定期演奏会<18:00> ～市民文化センター (500円) (☎三本木高校 ☎⑤4181)
22(日)	▶普通救命講習会<9:00>～十和田消防署 (対象:中学生以上の市民) (☎十和田消防署 ☎⑤4115) ▶桂 文我独演会<18:00> ～市民文化センター (大人3,000円、中・高生2,000円) (☎桂 文我の落語を聴く会・西野 ☎⑤3238) ▶十和田市茶道協会 春の茶会<10:00> ～市民文化センター (二席1,000円) (☎十和田市茶道協会 ☎⑤26026 玉掛)
26(木)	▶十和田市老人クラブ連合会 交通安全・防犯大会<13:00> ～市民文化センター (☎十和田市老人クラブ連合会 ☎⑤8633)
27(金)	▶写真展「10人の眼」<10:00>～市民文化センター(～29日) (☎写真展「10人の眼」 ☎⑤7879 東)

出張年金相談

日本年金機構八戸年金事務所では5月から月1回の出張年金相談を開設します。相談日の2日前までに八戸年金事務所へ申し込みをしてください。

◆とき 5月～平成29年3月 午前10時～午後3時
(毎月第4金曜日、12月は第4木曜日)

5月27日、6月24日、7月22日、8月26日、9月23日、
10月28日、11月25日、12月22日、平成29年1月27日、
2月24日、3月24日

※5月以外は『その他の催し』へ掲載します。

◆ところ 市役所本館2階会議室

◆予約申し込み 午前8人、午後12人(完全予約制です。)

◆相談日に持参するもの

本人確認できるもの、相談対象者の年金番号が分かるもの、
代理人が相談するときは委任状。

☎☎八戸年金事務所お客様相談室 ☎0178 ④7368
市民課国民年金係 ☎⑤6753



— 第21回 —

演奏は高齢者になっても続けたい

大好きな公民館で 花が咲く

とわだ音楽愛好会リーダー

おがさわら じょうじ
小笠原 城司 さん

PROFILE

「中学3年生のときエレキギターの流行によって仲間とバンドを組んだが、エレキギターの演奏は音が大きかったので先生にステージ発表させてもらえなかった」と苦笑い。

その後、郵便局勤務のかたわら十和田湖公民館を練習会場に演奏活動を行い、公民館まつりでは実行委員会委員長も務めた。

現在十和田湖公民館で演奏活動を行っている小笠原さんは、バンド活動を行うきっかけを次のように話します。

「20代の終わりが、青少年ホームで演奏活動をしている十和田ブラズ愛好会のメンバーに誘われて愛好会に入りました。当時は社交ダンスが花盛りで、ダンスのバックバンドが主な演奏活動でした」

小笠原さんが社交ダンスのバックバンド演奏を行っていた昭和の終わりから平成にかけては、コミュニケーションづくりのため、あらゆる団体が社交ダンスパーティを開催した時代でした。声の掛かったパーティは、青少年ホームダンスパーティ、農協青年部ダンスパーティ、民間会社のダンスパーティ、市役所職員組合青年婦人部ダンスパーティなどといえます。

「うちのバンドは13人ほどの編成で、楽器はベース、ドラム、ギター、トロンボーン、トランペット、アルトサクソフーン、テナーサクソフーン。演奏曲はジルバやマンボ、タンゴ、ルンバ。1ステージ10曲で、それを2ステージ行っていました。ひと晩に20曲演奏するのは若い時代でないとなかなかできません」と話す小笠原さん。

メンバーはそのまま年を重ね50、60代になるといいます。まさに「おやじバンド」。小笠原さんは奥瀬字

小沢口の出身。十和田市と合併後、十和田湖公民館職員の勧めもあり、公民館活性化のため十和田湖公民館に練習会場を移し、バンド名を「とわだ音楽愛好会」と改称してリーダーとなりました。また、公民館まつりは利用団体が実行委員会を結成して行う「市民参加型のまつり」となったため、まつりの実行委員長も務めた経験があります。

「中心となって音響、司会、進行などを行っていたのが、沢田地区の新舞踊の『沢田舞悠会（新屋敷京子代表）』の皆さんです。もちろん、皆さんはステージで新舞踊やモダンダンス、カラオケなどをたくさん発表しながらの進行です。彼らの力は大きかったですね。ステージ進行のプロでした。現在は、ステージ部門が法興小学校へ移ったため、ここ数年公民館側で行っていますが、『沢田舞悠会』の皆さんには本当に感謝しています」と小笠原さん。

小笠原さんの担当楽器はベースギター。十和田湖公民館まつりでは毎年最後のトリを演奏します。演目は演歌、ジャズ、ポップスなど。最後の曲ではステージにモダンダンスや舞踊の皆さんが大勢登場し、踊りながらフィナーレを飾るといいます。「高齢になっても好きな公民館で演奏活動をしたいですね」と小笠原さんは話します。

心踊る、緊張の入学式

三本木小学校



三本木小学校の式場では、^{ふくじゅ}福寿邦彦校長が「素晴らしい1年生になるためには、命を大切にすること。元気で学校へ通うこと」と、約束事を呼びかけると、新1年生は「ハイ」と大きな声で答えました。

- 1 「さあ、式場に行きましょう」と先生が新入生をご案内
- 2 「おめでとう。新しいクラスはこちらですよ」と、笑顔で迎えます
- 3 校長先生のお話しの最中…「あれ！親はどこにいるのかな？」
- 4 ♪1年生にな～ったら友達たくさんできるかな♪と大きな声で合唱です

十和田中学校



十和田中学校では、^{あつお}鳥谷部敦生校長が「授業を大切にすること。思いやりと感謝の心を持つこと。自分自身を磨き鍛えるために積極的な行動を起こすこと」と呼びかけました。

- 1 「好きな英語とバスケットをがんばりたい」と新入生代表の小田桐梨沙さん
- 2 「学校には体力づくりと清掃を行うハッスルタイムがあります」と生徒会長の工藤陸さん



人口と世帯 平成28年3月末現在 ※（ ）内は前月比

■人口/63,011人（-353人）男/30,140人（-196人）女/32,871人（-157人）
■世帯数/27,176世帯（-76世帯）



～今日も無事でいてほしい～
みんなでつくろう安全・安心なまち
セーフコミュニティ十和田

